

ヒューライツ大阪 将来ビジョン(2011年度～2016年度)

公益法人制度改革 ⇒ 一般財団法人へ移行 後検討

ヒューライツ大阪の使命

本当の人権、一人の例外もないすべての人のための人権をヒューライツ大阪は、それが、多くの人びとに理解され、受け入れられるまで、伝えていきます。

ヒューライツ大阪の4つの目標

1. アジア・太平洋地域における人権の伸長を図る。
2. 国際的な人権伸長・保障の過程にアジア・太平洋の視点を反映させる。
3. アジア・太平洋地域における日本の国際協調・貢献に人権尊重の視点を反映させる。

これまでの成果

- 国連の特殊協議資格の取得 ○国際的な協働プログラムを実施とその成果を出版
- 大阪府内の行政・企業・大学・高校等からの受託研修及び出前講座の増加
- NGO、NPO、大学、行政、大学等との人権講座及び共催事業実施の増加
- 府内外国人からの人権保障に係る相談電話 ○行政機関等からのホームページのリンク依頼増
- ホームページでの日本語・外国語での情報発信改良・発展 ○国連からの助成金を獲得 アジアでの事業実施と成果の出版 ○ニュースレター(国際人権ひろば、Focus)の発行と内容の改善

I ヒューライツ大阪のあるべき姿を提案

提案1 人権を伝える使命

人権とは何かを、大阪、日本、アジア、世界に、インターネット、研修、講演、情報提供、レファレンス、広報など、あらゆる機会をとらえて伝える。また、情報収集蓄積のため、経験を積んだNGOや各団体と協力して事業活動を進め、ネット

提案2 批判と反省から新たな歩み

府民や市民に人権をよくわかってもらえるような伝え方や人びとの立ち位置で問題を捉えていないという批判とその反省に立って、わかりやすい人権情報の発信や「国際基準」を府民・市民・企業に伝えていく。

提案3 アジア・太平洋へつなげる大阪のための貢献

橋下知事⇒大阪はアジアと日本の中継基地を目指す。

グローバル化時代、大阪は、日本、アジア・太平洋、そして世界と経済、社会等でつながっている。以前から、アジア・太平洋地域でのNGOや研究機関や大学との連携して、活動を実施してきた。人権をベースにした相互理解

II これからの重点事業

事業1 インターネットを駆使した情報収集、検索、発信

人権情報センターとして、ウェブサイト(日本語と英語)の充実に努める。

「見やすく、わかり易く、見つけ易く、役立つ」をKEYワードに。

事業2 人権の国際基準の普及促進と広報活動

- ①受託研修の組織化・強化
- ②人権教育や研修の企画を提供する。
- ①と②の対象：地方公共団体職員、大阪府民・市民、NPO/NGO、企業、教員、大学生、高校生、中学生、小学生
- ③他のNGO団体とのコラボを積

事業3 アジア・太平洋地域における人権保護、促進に貢献

今後も、国際的な協働プロジェクトに取り組む。
・日本とアジアのかかわりの人権問題について、国際セミナー、シンポジウムなど協働プロジェクトを行う。
・アジアの若者を対象とした人権

事業4 国連特殊協議資格の活用

国連特殊協議資格とは、国連人権理事会、人権条約機関の会議に参加し、意見発表のできる資格である。関西では唯一ヒューライツ大阪が有する。
①最新の人権情報を国内、アジア・太平洋地域に発信する。

III これからの視点

視点1 府民(市民・企業含む)への還元

1. 人権の国際的基準を伝える出前講座
2. 世界的視野に立った府民(市民)人権講座
3. 企業への人権情報提供・相談・研修
4. 企業向けCSRの研修マニュアル・冊子の作成
5. インターン、ボランティアの積極的受け入れ
6. 外国籍住民の人権保障についての自治体等との連携

視点2 収入の確保

1. 会員数の増大
2. 寄付金の獲得
3. 国内外の助成金の獲得
4. 研修受託事業の強化
5. 有料の連続講座の開催
6. 国際人権の教育計画の立案等の受託強化
7. 新たな収入確保の検討

留意事項

1. 収益事業の実施だけでは、本来の役割放棄
2. 府民の認知度をあげる工夫を行う
3. 専門的知識をもった外部の人の支援制度を設ける
4. 将来ビジョンを推進するための、継続的なサポート体制をつくる